



Via Santelli 9, 50134 Firenze. Tel.Fax +39.055. 416729

## ムジカ・リチェルカータ

アンサンブル・ムジカ・リチェルカータは1987年にミヒャエル・シュトゥーヴェと他の音楽家によって創立され、フィレンツェを中心に活動している。1989年には文化協会として組織化され、1998年にONLUS(非営利協会)として認可される。当初の活動目的は、フィレンツェ楽派時代の偉大なる作品レパートリーの復興であったが、その後グループの調査や研究は西洋音楽のヘレニズム時代から現代までのすべてを包括するものへと拡張した。これらの活動から生まれた演奏会のプログラムは、大変に興味深いもので、滅多に演奏されない貴重な作品などが多く含まれている。

協会の会長及びアンサンブルの代表はミヒャエル・シュトゥーヴェ。彼の指導のもとでムジカ・リチェルカータはヨーロッパ各国やアジア諸国で演奏活動している。その中では国際フェスティバル(タランテーゼ・バロック音楽祭1989年、ウンブリア教会音楽祭1995年、モンファルコーネ祭1996年、フィレンツェ5月音楽祭1996年、ポテンツァのアテネオ・ムジカ・バジリカータ1998年、ライプチヒ・バッハ祭2001年、チヴィダーレ・デル・フリウリ祭2001年、シェーンブルン・フェスティバル2002年、桐生市の室内音楽祭「室内楽の四季」2003年、モスクワのトスカーナ芸術週間2003年、京都・フィレンツェ姉妹都市40周年記念祝典2005年)での演奏活動も少なくない。ムジカ・リチェルカータは、テレビやラジオの出演でも知られている。当協会は、国際シンポジウムや会議なども開催し、スクオーラ・ノルマーレ・スーペリオレ・ピザ大学(Scuola Normale Superiore Pisa)やルイジ・ケルビーニ・フィレンツェ音楽院、ウィーン音楽大学、モスクワ・グネッシン国立音楽アカデミー、大阪大学などの研究所と共同で学術活動も行っている。出版物としては、代表的なものに、フィレンツェのLeo. S. Olschki出版社イタリア音楽学誌シリーズの「音楽と音響美学危機」(Musica e Crisi sonora)が挙げられる。

ムジカ・リチェルカータは、ヨーロッパ及び国際共同事業をその活動目的ともしており、今までにEU委員会の様々な文化プログラム枠域内での芸術プロジェクトを実現化している。ギリシャ古代音楽とフィレンツェのオペラ誕生へ献呈されたプロジェクト「ヘレニカ(ヘレニズムの事) - 古楽と現代音楽の会話」は、1996年と1997年に音楽文化プログラム「万華鏡(Kaleidoskop)」に組み込まれた。「ソルトロード(La Via del Sale)」と題するムジカ・リチェルカータの演奏会は、毎年南トスカーナで行われたが、トスカーナ地方の文化プログラム「フランチジェーナ街道(La Via Francigena)」枠域内でトスカーナ地方より援助され、1998年と1999年にはEU委員会のリーダーII(L.E.A.D.E.R.II - Liaison Entre Actions de Développement de l'Économie Rurale ヨーロッパ地方活性化文化事業企画)プログラム内で助成もされた。「ミューズ・博物館・音楽(MUSA MUSEO MUSICA) - オルガニク・ヴォーチェス(オルガニックであり、オルガナムであることに結びつく声や声部のこと) Organicae voces. 17、18及び19世紀の音響の世界」は、楽器音楽史と歴史的音響型の発展に関する3年間に及ぶプロジェクトで、1999年から2002年までEU委員会の文化遺産保護プログラム「ラファエル(Raphel)」の枠域内で助成された。ムジカ・リチェルカータの活動に関しては、インターネットの[www.musicaricerca.it](http://www.musicaricerca.it)と

[www.musikmuseum.org](http://www.musikmuseum.org)で詳細をご参照ください。